## 会長挨拶

この度、本協会会長に就任することになりました松本でございます。歴史と伝統ある協会の会長を務めさせて頂くことは誠に光栄であるとともに、その責任の重さに身が引き締まる思いです。つきましては、香川県水泳界の一層の発展を願い、微力ながら全力を尽くす所存でございます。



会長 松本 彰

では年を振り返りますと、競技力では多くの好結果を残すことができました。まずは全国中学校水泳競技大会が香川県で開催され、競泳では平田統也選手が100m背泳ぎで優勝、200m背泳ぎで2位、徳田崇真選手が400m自由形で3位、200m自由形で7位、400mメドレーリレーにおいても平田、福江、前場、森選手らの坂出伊藤チームが3位、中村、国重、田村、藤原選手にのが3位に入賞しました。飛込でも唐渡友唯選手たちの大活躍が見られました。

また、競技運営においても全中大会に向け諸準備を行い、練習を重ねた結果、全国大会にふさわしい運営ができたことは、競技役員の自信と力量アップにつながり協会としても大きな財産となりました。

さらに、3月には国際大会代表選手選考会において、郷土出身の花車優選手が200m平泳ぎでパリオリンピックの代表を勝ちとりました。香川の水泳界において、待望であったオリンピック選手の誕生に歓喜の声が上がっています。今夏のオリンピックでは、皆さんの期待に応える力泳を見せてくれるものと信じています。

この水泳界の上昇気運を活かして、今後の本協会の主催事業、並びに主管する各種大会の企画・運営に取り組みます。また、競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング、日本泳法などの各分野におおいて、競技力の向上を目指しアスリートとして魅力的な人材の育成にも注力していきたいと考えております。今後とも水泳の普及活動や競技力の上に努め、選手、指導者、競技役員を含め水泳に携わる方々と協力しながら協会の充実を図ってまいります。

今後とも皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、来年3月には日本泳法研究大会が高松で開催されます。380年余りの歴史を持つ郷土の「水任流」の技を広く伝え、伝統文化を継承することの大切さを学ぶとともに、日本泳法の魅力や楽しさを伝えるよい機会になると考えます。この研究大会の成功と水任流の益々の発展を祈念して挨拶といたします。

2024年6月